

# 市内で活動する音楽家 × 市議会

今回は市内で活動している音楽家の皆さんにお集まりいただき、音楽を始めたきっかけや市民と関わりのある活動などについてお話を伺いました。



参加者の自由で活発な発言を促す観点から、氏名等の掲載は控えています。

## 市内に音楽家はたくさんいるので、活動できる場があれば集まって、いろいろな企画ができるのでは。

### 〈音楽を始めたきっかけは？〉

■親が幼稚園のピアノ教室に通わせてくれたのがきっかけです。今は主にオペラとか合唱団の伴奏をしています ■中学生の頃、友達の兄貴からギターを譲り受け、そこから始めた音楽人生です。自分で作詞作曲して歌っています ■中学校の吹奏楽部の後、何もしていませんでしたが、テレビでママさん brassバンドの特集を見て、あきる野市の中

心としたママ brassバンドをつくりました ■小学校の金管バンドクラブで打楽器を始めました。中学校で吹奏楽部に入り、そのままクラリネットを続けています。今はあきる野市の吹奏楽団の事務局長をしています ■36歳の時に親子キャンプで上手な弾き語りに出会い、独学でギターを始めました。シンガーソングライターとして、音楽療法士もしています ■3歳からピアノを始めて音大に進み、今は自宅でピアノを教えたり、あきる野

### 〈市民と関わりのある活動は？〉

市を拠点に活動しているオーケストラに参加しています ■市内の保育園で園児向けに、オペラ歌手の方をお招きしてコンサートを開きました ■音楽活動50周年記念コンサートをキララホールで無料で行いました。応援金が集まり増戸と五日市の小・中学校にフォークギターをプレゼントしました ■市内の保育園や幼稚園



などを訪問したり、市のイベントに参加していましたが、コロナ禍で全部なくなっていました ■町内会のクリスマス会で演奏したり、市内の様々な行事に出演したり、公民館でリコーダーを教えています ■秋留野広場であきる野音楽市場のイベントに参加しています。秋留野広場は、天候に左右されるので、屋根があったらいいですし、音楽の力で市を盛り上げることもつながるのではと思います ■去年、キララホールで演奏活動を行いました

### 〈まちづくりに音楽をどのように取り込んでもらえるか？ 市や議会に期待することは？〉

■触れたり聴ける機会がない楽器を、学校とかで子どもたちに紹介したい ■キララホール前の芝生広場でイベントができるといい。コロナ禍で中止になっているイベントを復活してほしい。音響が良くない施設の改修ができれば ■市役所にあるグランドピアノを少し制限を付けてストリートピアノとして開放したらいいのでは ■20年位前に軽井沢シンガーソングライターフェスティバルというのがあったが、今、やっている自治体はないと思うので、やったら面白いかな ■市内に音楽家はたくさんいるので、活動できる場があれば集まって、いろいろな企画ができるのでは



● 9月定例会議 議案審議 ●

あきる野市の  
こんなことが決まりました。

9月定例会議 会議期間32日間 9月13日～10月14日

9月定例会議の議案は  
市長提出議案……………17件  
陳情……………2件  
委員会提出議案………2件

今号では  
この中から  
7つを Pick up

全ての議案等の内容と結果は、あきる野市ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。

〈議案第66号〉 令和4年度あきる野市一般会計補正予算(第8号)

Pickup 1  
あきる野っ子応援独自給付金を  
支給します。

新型コロナウイルス感染症の長期化や物価高騰などで、負担の重なる子育て世帯への支援として、児童1人当たり2万円の応援給付金を支給します。

こんな質問が出ました。

**AQ** 支給方法は、児童手当と児童育成手当受給者には、プッシュ型で支給し、それ以外の方は、申請後、振り込む。

**Q** 必ずしも子育て世帯の収入が減っているとは限らないが、この給付金を支給することになった理由は。

**A** 物価高騰は所得にかかわらず影響を受けるので、負担の多い子育て世帯を広く応援する観点から所得制限を設けず支給する。



〈議案第66号〉 令和4年度あきる野市一般会計補正予算(第8号)

Pickup 3  
高齢者等のインフルエンザ予防接種費用を公費で全額負担します。

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行を見据え、東京都が創設した補助制度を活用し、高齢者等のインフルエンザ予防接種の促進を図ります。

こんな質問・意見が出ました。

**Q** 感染すると重症化、死亡するリスクの高い高齢者等に対して、無料で接種できるようにするが、対象人数は。

**A** 当初予算で1万2187人分見込んでいたが、今回、全額公費負担になることから接種率が上がると想定し、今回の補正予算で3555人分を追加し、合計1万5742人分を見込んでいる。

**意見** 接種したい方が1人でも多く接種できるように体制を整えて欲しい。



〈議案第66号〉 令和4年度あきる野市一般会計補正予算(第8号)

Pickup 2  
令和5年度から高校生等を対象とした新たな医療費助成制度を実施します。

東京都の補助制度の創設を受け、令和5年度から高校生等を対象とした新たな医療費助成制度を実施します。

こんな質問・意見が出ました。

**Q** 対象者は、高校生等となっているが、具体的には、15歳の4月1日から18歳の3月31日までの間にある者で高校に在学している者に限定しない。

**意見** 高校3年生世代までの所得制限なし、また通院費の200円撤廃は、市長の掲げる未来を支える世代を育てる取組とも合致していて、大変評価する。



### Pickup 4

## 学校給食における食材の仕入れ価格高騰分を公費負担します。

物価高騰に対し、これまでどおりの栄養バランスや量を維持した学校給食が提供できるよう仕入れ価格高騰分を公費負担します。

こんな質問が出ました。

**Q** 必要経費の算出根拠と対象期間は。

**A** 総務省が示す消費者物価指数の東京都支部における前年同月を比較した食材価格の上昇率が4・3%なので、これを参考に9月から来年3月までの給食回数で積算して計上した。



### Pickup 5

## 市長車の運転業務を委託します。

市長の公務執行に当たり、身体安全の確保と効率的な執務環境を整備するため、市長車の運転業務を委託します。

こんな質問が出ました。

**AQ** 運転業務委託の内容は。運転手付の車をリースする。車種は、華美にならない普通車でハイブリッド車を予定。

**Q** 市民には市長公用車廃止を歓迎している方もいた。そうした市民にはどう説明するのか。一般的に市長が出張するには市長車が必要と考える。廃止していたものを復活させるので、理解してもらえる方法を考える。

**AQ** 契約期間は。令和4年11月から令和7年10月までの3年間の長期継続契約を予定。



### Pickup 6

## 国の交付金を活用し、市独自の物価高騰対策事業を実施します。

物価高騰の影響を受けている各種事業者(社会福祉事業者、農林業従事者、ごみ収集運搬事業者などに補助金を交付します。また65歳以上の市民に5千円のプリペイド型商品券を配布します。

こんな質問が出ました。

**Q** コロナや物価高騰の影響を受けている市民は多い。影響が大きい方、困窮度の高い方に手厚く支援をすることが重要だと思いが、今回の事業を選んだ方針は。

**A** 本市独自の物価高騰対策を検討する中で、これまでの対策や近隣自治体での実施状況、国の推奨メニューを総合的に勘案して決定した。



### Pickup 7

## 秋川渓谷瀨音の湯の経営の健全化を図るため、利用料金を引き上げます。

物価・エネルギー価格の高騰、人件費の増加などにより、経営状況が悪化していることから利用料金を引き上げます。

こんな質問・意見が出ました。

**Q** コロナによる利用者の減少がもう少し回復するのを待つてからの値上げを判断せずこの時期に値上げに踏み切った理由は。

**A** 平成27年度に利用料金の改定を行って以降、自助努力で施設を運営してきたが、利用者の減少や急激な物価・エネルギー価格の高騰などで経営状況が急変し早急の対応が必要と判断したため、このタイミングになった。

**意見** コスト削減の努力は重要と考えるが、光熱費の上昇を考えると一定の料金値上げは社会情勢を見ても仕方ないと思う。

**意見**

100円の値上げ幅は、周りの状況から考えると仕方ない。社員も増えているので、しっかりと経営改善につなげてほしい。今回の値上げがサービ스에還元されるように頑張りたい。

項目	現行		改定後	
	おとな	子ども	おとな	子ども
一般通常料金	900円	450円	1000円	500円
市民割引	500円	250円	600円	300円





**学童クラブ運営経費(民生費)  
1億7839万9117円**

**Q** 令和3年度に若葉第2学童クラブを整備したが、現状の学童クラブの待機児童数は。



**A** 10月1日現在、市全体で66人となっている。内訳は若竹学童クラブ42人、五日市学童クラブ9人、増戸学童クラブ15人の合計66人。待機児童の対応策として、児童館の特例利用の運用をしており、居場所の提供を行っている。

**ファミリー・サポート・センター事業経費(民生費) 1322万4808円**

**Q** 提供会員になるための、講習受講人数の推移は。



**A** ここ数年はコロナ禍のため、年に1回の講習実施となった。令和3年度は新規6人を含む16人が受講した。4年度は講習会が2回実施できたため、新規12人を含む32人が受講。

**Q** 依頼会員の多岐にわたるニーズに応えるために提供会員数をいっそう増やす必要があるが、その周知に回覧などを使用する予定はあるか。

**A** 回覧は、事業を周知するための手段の一つなので検討していく。

**地震・台風等災害対策経費(消防費)  
3501万5661円**

**Q** 生理用品や尿取りパッド等も購入、備蓄しているか。



**A** 備蓄していない。維持管理の負担が非常に大きい。大型ドラッグストア2社と災害時応援協定を締結し、必要なものが購入できるような体制整備を進めている。今後、発災時に必要な早期対応のための備蓄について検討していきたい。

**Q** 保存期限が迫った備蓄食料の有効活用は。

**A** 市立保育園、コロナ感染者支援、生活困窮世帯支援、フードドライブ、自主防災組織5団体の給食訓練用などとして提供した。また、防災フェスタ来場者に食料備蓄の啓発として配布した。

**新型コロナウイルスワクチン接種事業経費(衛生費) 5億361万3718円**

**Q** 副反応被害の救済制度について、相談、申請、認定の数は。



**A** これまでに健康課でコロナワクチン接種後の健康被害に関する相談を受けた人数は23人。そのうち予防接種後健康被害救済制度に基づく申請件数が9件で、あきる野市予防接種健康被害調査委員会での審議を経て、厚生労働大臣に進達した件数は5件だった。厚生労働省から審査結果の送付があった件数が2件で、審査結果はいずれも認定となっている。

令和3年度決算をチェック  
**税金の使い方について質問しました。**

皆さんが納めた税金がどのように使われたか——令和3年度の決算は、10月11日・12日の2日間、決算特別委員会で審査し、10月14日の本会議で、すべての決算が認定されました。決算特別委員会での主な質疑の内容を紹介します。

**令和3年度会計別決算**

	歳入(収入)	歳出(支出)
一般会計	368億4291万2777円	350億6255万3400円
特別会計		
国民健康保険	84億9045万2403円	83億4415万2155円
後期高齢者医療	21億7641万6748円	21億5585万6395円
介護保険	71億8925万858円	68億8401万6070円
戸倉財産区	1765万1050円	1617万1926円
テレビ共同受信事業	3201万6237円	3201万6237円
秋多都市計画事業武蔵引田駅北口土地区画整理事業	14億2609万8541円	13億6915万6927円
公営企業会計		
下水道事業 ※		
収益的収支	20億6770万778円	20億464万3004円
資本的収支	19億2827万5000円	26億9783万6794円
合計	601億7077万4392円	585億6640万2908円

※下水道事業については、利益の処分の可否を含みます。また、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、損益勘定留保資金等で補てんしました。

**あきる野ふるさと寄附事業経費(総務費)  
600万8346円**

**Q** あきる野市のふるさと納税にかかわる収支は。



**A** 令和3年度の法人も含めた寄附歳入は1922万723円であり、ふるさと納税による寄附は1607万2000円。この寄附に伴う返礼品等の経費が600万8346円、市民が他の自治体へ寄附することによる税の控除が、9557万1052円、これらに交付税の7167万8289円を加えると、1382万9109円のマイナスになる。多摩26市全てマイナスになっている。

**一般職人事管理経費(総務費)  
8億6355万6623円 ※**

**Q** 超過勤務が月80時間を超えた職員は何人いたか。



**A** 延べ人数で55人、実人数で26人いた。

**Q** 2か月、3か月と連続で、超過勤務が月80時間を超える職員はいたか。

**A** ワクチン接種担当9人、選挙事務担当2人の計11人。

**Q** ワクチン接種業務の職員負担を軽減する対応は。

**A** コールセンターの業務を民間委託し、接種会場案内業務に会計年度任用職員を17人任用した。

**Q** 防災係の平均の年間超過勤務が500時間を超えているが。

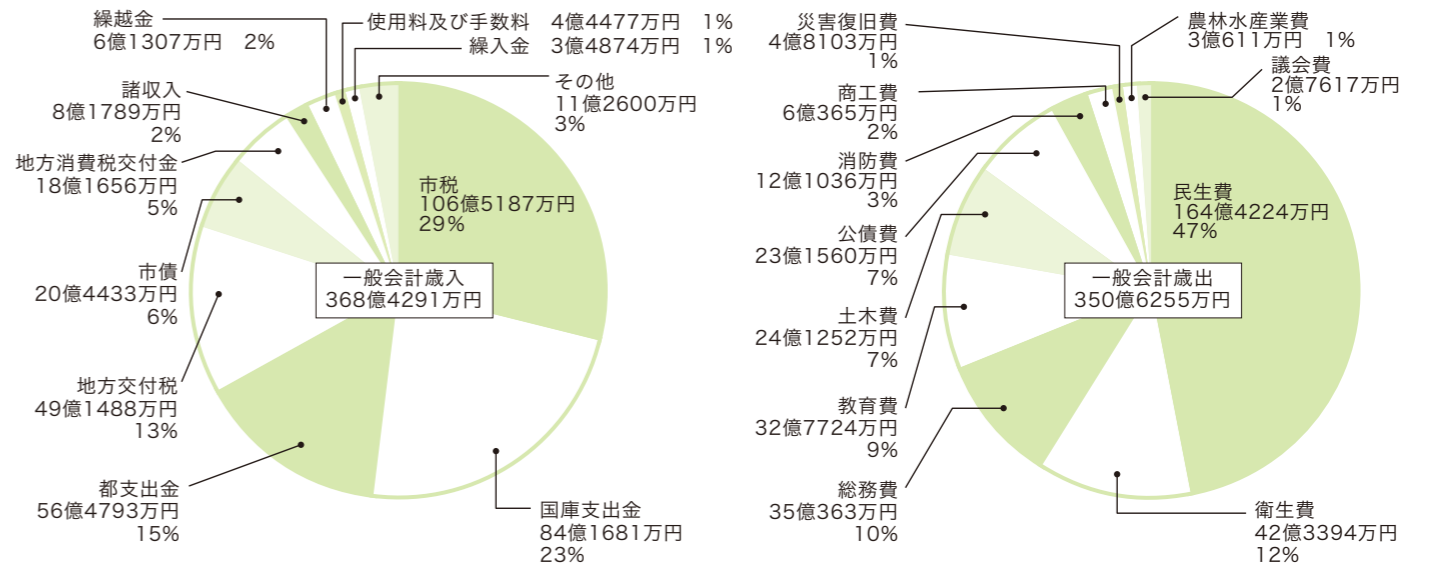
**A** 地域防災計画やハザードマップの修正等、臨時業務の増加による。

※総務部の職員給与等と市職員の退職手当組合負担金等の合計額です。



## このような理由で一般会計決算の内容に賛成・反対しました。

定例会議最終日に、決算特別委員会で審査した結果を天野委員長が報告し、令和3年度一般会計決算の内容について、6会派中5会派が賛成又は反対の討論を行いました。討論の主な内容を掲載します。



※金額は、表示単位未満を切り捨てしており、端数処理の関係で、合計数値があわないことがあります。

### 明るい未来を創る会

賛成

市税収入の大幅な増収が期待できない状況では、歳出を見直さなければならない。一見、市民のためという見掛けになっている事業が、一部の声の大きな人に利するものであったり、富めるものが更に富める事業になっていないかなど、事業一つ一つの検証は必要。多様化する市民要望に対して対応する職員数についても検討する必要がある。コロナ禍においての超過勤務等、役所の根幹となる職員がイキイキと働ける労働環境の整備は基本である。セーフティネットを機能させるためにも扶助費の増加はやむを得ない。多胎児家庭支援事業が開始されるなど、対象者が少ない事業でも、単に費用対効果だけでなく、助けが必要な人に、手を差し伸べていって欲しい。



中村のりひと議員

### 公明党

賛成

一般会計の市債残高は、前年度比で約1億6千6百万円減少し、基金残高は約2億1千4百万円増加。実質公債費比率及び将来負担比率等が前年度比で減少し、財政指標の改善も進んでいる。ワクチン接種の円滑実施等新型コロナ対策、事業者支援、デジタル商品券発行による消費喚起対策、児童館遊戯室及び小・中学校体育館へのエアコン設置、生活困窮者等への給付など幅広い対策を評価する。社会保障費の増加や人口減少による税収減、世界情勢等、先行き不透明ではあるが、公明党が求めてきた高3世代までの医療費完全無償化や更なる子育て支援、物価高騰対策、地域公共交通の充実等に真正面から取り組み、安定と安心の市政運営を強く求め、賛成討論とする。



増崎議員

### 日本共産党あきる野市議団

賛成

歳入総額は、368億4291万3000円で、前年度に比べ12.7%減少したが、前年度に実施した特別定額給付金にかかる国庫支出金などが減少したため、税収の面では大きなマイナス影響はなかったとしている。歳出では、コロナ対策として自宅療養者に食料品の配送やパルスオキシメーターの貸し出しを積極的に行い、集団接種会場までの移動手段がない65歳以上にタクシー利用の一部を助成した。他に子育て世帯への臨時特別給付金支給や多胎児家庭支援事業、若葉第2学童クラブの開設、学校トイレの悪臭対策、るのバス増便とデマンド交通の実証実験、留原中村地区の排水ポンプ改修工事など、市民に寄り添う努力が図られたことを評価し賛成する。



松本議員

### 自由民主党志清会

賛成

財政指標の改善などから、堅実な財政運営が伺える一方で、人口減少や公共施設の老朽化など課題も多いのが現状である。ロシアのウクライナ侵攻が世界経済に悪影響を及ぼし、物価高騰という形で日本経済にダメージを与え、アフターコロナで街に活気が戻りつつある中、逆風となってしまった。中嶋市長には所信表明で述べられていた「すべての市民が活き活きと暮らして行けるまちづくり」実現のための施策に期待し、生産年齢人口の増加や移住・定住の促進については、いち早く取り組んで頂きたい。コロナ対策を万全に行いながら市民サービスを低下させることなく、今後も効率的かつ効果的な行政運営を推進して頂くことをお願いし、賛成の討論とする。



よしざわ議員

### くさしぎ

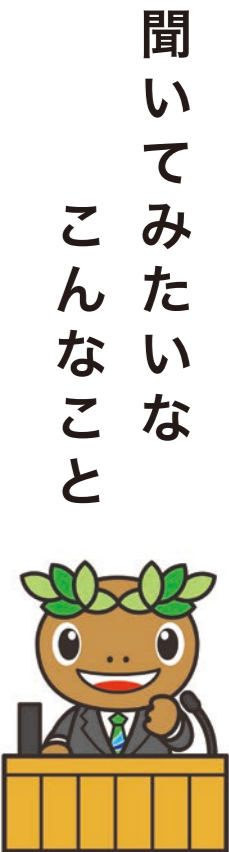
反対

決算審査で明らかになった行政課題を述べて反対討論とする。毎年、大幅な増額補正をしている事業がある。当初予算に本来必要となる経費を充てるためには、事業の必要性を十分精査すると共に、住民要望に対して客観性のある判断基準を設け、公平性、透明性、公正性をもって応じる必要がある。今は、右肩上がりの時代と同じようには住民要望に応えることはできない。各部署における事業全体のダウンサイジング（規模縮小）が必要である。また、職員の超過勤務の実態等から見て、マンパワー的にも事業のダウンサイジングが必要。新たな事業を1つ始める際は、既存の事業を1つ減らすぐらいの思い切ったルールを設けるべき時期に来ていると言える。



辻議員

天野決算特別委員会委員長



聞いてみたいなこと  
こんなこと

# 一般質問

## 一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問でああなたの生活にかかわる内容はありますか？

質問議員 19人 質問項目 46件

一般質問の全ての内容を動画で視聴できます。市ホームページの「市議会から」本会議録画中継」を検索するか、スマートフォンやタブレットで2次元コードを読み取りご覧ください。

## 障がい者支援について



たばたあずみ (共産党)



**Q** 視覚障がい者の痛ましい事故を防ぐために、踏切前に点字ブロックを設置すべきではないか。

**A** 本年6月改定の国のガイドラインを踏まえつつ、交通弱者の通行に支障がないよう検討する必要がある、現状把握等に努める。

**Q** 優先的な設置の検討が必要と考えられている踏切とその理由は。

**A** 狭小踏切は点字ブロックによる通行障害の可能性があり、また踏切として将来的に解消すべき対象。それ以外の踏切で設置の優先性、可能性の検証が必要。



**Q** 他の交通弱者との兼ね合い以外の問題は何か。

**A** 踏切内外での設置が基本で、鉄軌道敷内の工事費は鉄道会社の負担。運行時間外での施工による工事費の増大等が課題である。

**Q** 踏切内外への点字ブロック設置は義務ではない。外側だけでも設置できれば安全性は高まる。どこに、どう設置するのがいいか、当事者や視覚障がい者団体などと意見交換をする考えは。

**A** 当事者個人や団体から要請があった場合は対応する。それ以前に障がい者担当部署を含め、関係機関との調整を検討する。

他に公共交通について質問した。

## 武蔵引田駅周辺の都市基盤整備について



堀江 武史 (自民党志清会)



所信表明において、あきる野の未来を創る取組として、本市を持続的に発展させていくためには、都市基盤のさらなる充実の必要性を表明され、今後の市政の発展に期待を寄せているところである。

**Q** 武蔵引田駅北口土地区画整理事業の今年度の進捗状況は。物件移転補償業務は84・3%の建物移転が完了予定。宅地造成工事は8月末時点の面積割合48・4%が完了。道路築造工事は令和3年度末時点の計画延長に対し、32・1%が完了している。

**Q** 東京都において、優先整備路線として位置づけられている秋多都市計画道路3・4・13号線の整備の見通しは。



**A** JR五日市線の北側区間は、土地区画整理事業での暫定整備を進め、南側から秋多都市計画道路3・3・3号線に接続する区間は、課題もあり現況測量や道路構造等の在り方を調査していく。

**Q** 秋川高校跡地における産業系土地利用の実現に向け、今後、市長はどのように取り組んでいくのか。

**A** 最重要課題として位置づけ、都用地の処分や市街化区域への編入について、自ら都へ働きかけ、任期中に土地利用が進むよう精力的に取り組む。

## 小・中学校ホームページについて



増崎 俊宏 (公明党)



**Q** 市内の小・中学校ホームページを見ると、サイトへの接続が保護されていないと表示されるものが散見される。セキュリティを追加しては。

**A** 学校から発信する情報は、信頼性や安全性が求められるため、セキュリティ対策の検討が必要と考える。

**Q** 管理・運営上、統一したホームページにしては。

**A** ホームページは、開かれた学校を目指す上で、重要な手段である一方、管理運営上の課題もある。今後、各小・中学校と協議していきたい。

**A** 保護者や教員の負担、利便性等を考えた場合、デジタル化を進めていく必要があると考えている。

**Q** 欠席連絡が自動で校務支援システムに反映される仕組みにすべきと考えるが。

**A** 現在導入している校務支援システムは、保護者連絡システムとの連携が可能なようである。各学校と情報を共有しながら研究していきたい。

他に登下校時における子どもへの安全確保、空き家対策について質問した。

**Q** 学校ホームページ上にある欠席届を印刷し、学校へファクスを送る方法ではなく、保護者がスマホで欠席連絡できるようデジタル化すべきと考えるが。

届け出  
欠席・遅刻・早退届け  
→ダウンロード  
再登校届け  
→ダウンロード



## 人口移住・定住策について



国松まさき  
(自民党志清会)



**Q** 市長が所信表明で述べた、あきる野市の魅力を発信し、移住・定住を促進するための具体的かつ大局的な施策として考えていることは。

**A** 移住についてのウェブ情報の充実と発信方法の工夫や満足度が高い受入態勢の構築、及びそれらの継続性が最も重要であると考えている。子育てしながら暮らしてみたいなど、人生の幸福度と選択肢を親切に案内できる移住起業総合支援窓口が必要であり、行政がそれら支援を担うべきである。あきる野市の将来を見据えて次の世代の人創りに投資をすることは最も重要な施策である。

**Q** 将来人口目標については、毎年度、目標値を設定していくべきと思うがいかがか。

**A** 具体的な数字は必ず出した方がいいので、これからしっかり戦略等を練った上で数値目標を設定し、進めていく必要がある。

## 高校生までの医療費無償化について



松本 ゆき子  
(共産党)



**Q** 東京都は、2023年度から子ども医療費助成の対象を高校生まで拡大する方針を発表。区市町村と具体的な協議がまとまれば、2023年4月から順次、助成を開始するとしている。市長の公約でもあり、早急な実現を望むが、市の見解を伺う。

**A** 高校生等医療費助成について市では、所得制限及び通院1回当たり200円の一部負担を撤廃し、来年4月から実施したいと考えている。

**Q** 対象者となる高校生と中学生以下の人数を伺う。

**A** 対象となる高校生相当の児童数は2300人程度を想定、義務教育就学児医療費助成の児童数は6200人程度を想定している。

**Q** 都は、この事業を3年間実施としているが、4年後の見解を伺う。

**A** 子育て環境を充実させる事業として、4年後も本市としては引き続き実施していくと認識している。

他に檜原村産業廃棄物焼却場建設問題について質問した。



## 自然災害について



中村 一広  
(自民党志清会)



**Q** あきる野市国土強靱化地域計画が策定されたが、市民への周知及び広報は。

**A** 広報あきる野と市ホームページで周知。

**AQ** 消防団の各分団の欠員数は、団本部5人、第1分団22人、第2分団20人、第3分団16人、第4分団56人、第5分団41人、第6分団11人、第7分団12人。

**Q** 地域の方々に団員確保の必要性や意義を更に理解してもらうため、市としての地域への働きかけは。

**A** 年1回広報あきる野の1面に消防団の活動、団員募集



を掲載しているが、今年度から毎月15日号に団員募集の案内を掲載する。加えて庁舎の懸垂塔などを活用し周知したい。また、町内会・自治会連合会にも協力を依頼した。

**Q** 災害から身を守るためには、早期避難が何よりも大切になる。自然災害が発生した時にまずは、命を守る行動を取ることを、同時に災害時の安否確認が大事になってくる。複数の連絡手段を確保しておく必要があると思うがいかがか。

**A** 無事旗、防災用伝言ダイヤルや防災用伝言サービスなど、複数の連絡手段の確保が必要と考える。

他に所信表明について質問した。

## 友好姉妹都市等に関する事業について



よしざわゆたか  
(自民党志清会)



あきる野市は3つの都市と友好姉妹都市等の盟約を結んでいる。それぞれにその成り立ち、歴史、事業内容に特色があり、双方にとって様々な恩恵をもたらしてきたと思うが、コロナ禍で支障を来たしていることが懸念される。

ポロウ市とは中学生の交換留学。いずれもコロナ禍で休止中。

**AQ** 今後の事業の進め方は、栗原市、大島町とはあきる野市産業祭に参加の方向。マールポロウ市とは市内関係団体からメッセージ送付で継続し、事業再開に向けて協議をしていく。

**Q** 現在、提携している都市とその事業内容は。

**A** 宮城県栗原市、東京都大島町、アメリカ合衆国マサチューセッツ州マールポロウ市とそれぞれ中学生や市職員の交流を主としている。

他に災害時の医療連携について質問した。

**Q** コロナ禍以前の実績とコロナ禍、今現在までの状況は。

**A** 栗原市とは中学生が部活動等を通じて行う友好親善交流事業や職員交流事業。大島町とは大島・子ども体験塾事業、中学生が大島のマールソン大会に参加。マール





## 原油・物価高騰対策について



子籠 敏人  
(自民党志清会)



**Q** 燃料費や物価の高騰は、市民生活の様々なところに影響を及ぼしており、市としてもできる限りの対応を図っていくべきと考える。具体的にいつどのような内容で行うのか伺う。

**A** 9月定例会議の最終日に、補正予算案を提出する。内容としては、原油価格高騰の影響を受けている障害福祉サービスや介護、保育等の事業所などに対し、上限額を定めて補助金を交付する事業のほか、65歳以上に5千円相当のプリペイド型商品券を配布する事業、高校生相当までの児童を養育する子育て世帯に児童一人

## 東京都ドクターヘリについて



天野 正昭  
(自民党志清会)



**Q** 東京都でも小型機体を利用したドクターヘリの運航が始まった。離着陸可能な場所も増えて救命活動の機動力が高まったと聞いている。この運航がまだ市民に十分知られていないと感じ、質問する。

**AQ** 都が導入した目的は、救急医療体制のさらなる充実を図るため、山間部を有する多摩地域において導入している。

**Q** 具体的にどのように運航されているのか。

**A** 出動要請は119番通報を受けた消防機関が患者の重症度や緊急度を判断して行う。出動要請を受けると、待機する医師と看護師をヘリに乗せ、指定された合流地点に向かい、患者を収容し機内で治療を行いながら救命救急センターに搬送する。

**Q** 出発地と本市の間には横田空域が存在するが緊急時に侵入通過することはできないか。

**A** 横田基地上空通過が安全な時や通過に支障がないときには運航ができる。特に、傷病者を迎えに行くときなどの緊急時においては優先されている。傷病者を搬送しない場合や緊急運行ではない場合は迂回することもある。

他に地域子ども育成リーダー事業について質問した。



## オスプレイ地上待機の問題について



関口 えり子  
(共産党)



オスプレイの地上待機の問題について、市民の安心・安全を守る立場から、質問する。

に応じて要請等を行い、引き続き情報収集にも努め、状況を注視していきたい。

**Q** 米空軍は、飛行再開について、搭乗員に対する教育・訓練内容の追加、継続的に機体の点検を行うことで安全が確保されたとしているが、これで本当に安全が確保されたと言えるのか。市長の見解は。

**A** 様々な対策や点検を講じても、安全が100パーセントとは言えないし、リスクゼロというのは難しいと思う。市民の安全・安心を守る市長として、今後も必要

**Q** 構造上の問題は解決されていない。問題の解決を求めていく考えはあるか。

**A** 市としては、令和4年9月7日付で安全確保の徹底を求める要請を行っており、現段階では、今後の状況を注視していきたい。

**Q** この問題で、青梅市や日の出町と協力して、何らかの行動をとったのか、またはその予定はあるのか。

**A** 現在のところ、本件のことで、連携した行動はとっていない。今後、青梅市、日の出町、本市の担当職員が、米軍との意見交換ができる機会があれば、状況確認をしたいと考えている。



## 3歳児健康診査への屈折検査機器の導入について



原田ひろこ  
(公明党)



**Q** 3歳児健康診査は視力の発達を阻害する疾病を早期に発見し、治療につなげる重要な機会である。屈折検査の併用が弱視の発見率を向上するとの結果があり、厚生労働省は2022年度予算に屈折検査機器の整備に対する補助を設けた。

**Q** 本市でも導入すべきと考えるが、26市の状況は

**A** 令和4年4月時点で、導入済みが16市、年度内に導入予定が2市、未定が8市。

**Q** 3歳児視力検査受診率及び弱視等が発見される確率は、

**A** 早期の導入を望むが、実施時期はいつごろか

**A** 受診者全員に対し、100%。令和元年度が8人で1.6%、令和2年度が9人で1.6%、令和3年度が9人で1.7%。

**A** 医師会からの声もあり、多摩地域も導入が進んでいる。早期の導入に向けて検討しているが、現時点では導入時期は決定していない。

**AQ** 現在の検査方法の課題は、子どもの特性や家庭の事情によって一次検査ができないことなどの課題がある。

他に妊娠・出産・産後まで切れ目のないケア、障がい者の支援について質問した。

目の検査用「絵視標」	



## 前田耕地遺跡等について



白井 建  
(自民党志清会)



**Q** 前田耕地遺跡では、縄文時代草創期の集落、石器50万点以上、動物の骨、サケ科の歯が出土した。重要文化財でもある遺物は、東京都埋蔵文化財センターに保管され、これまで市民の目に触れることはなかった。遺物について市の見解は。

**A** 出土した石やりや歯などの重要文化財及び国内最古の住居跡は、国や本市の歴史や文化の理解に不可欠な価値ある市民的財産である。

**Q** 都から遺物を借用して企画展示または見学ツアーを実施できないか。

**A** 企画展は文化財保護法に基づいて他事例を参考に模索する。また見学ツアーについても埋蔵文化財センターとの共催実施の可能性を検討する。

**Q** 以前の小学校副読本には、同遺跡が写真入りで紹介されていたが、現在の副読本には地図が表示があるのみ。同遺跡の存在について、工夫をして、子どもたちに伝えることは、教育上意義があると思うが見解は。

**A** こうした地域文化財は子どもたちがその歴史や文化を学習する上で優れた生きた教材であり、体験する機会を設けていく。文化財の保護・活用を図る人材や基盤の整備に努めながら、積極的に市民が親しめるように紹介していく。



## 農業振興について



浦野 治光  
(自民党志清会)



**Q** あきる野市農業振興計画は、令和5年3月に改定されるが、現在の進捗状況、農業を取り巻く現状と課題、策定委員会での主要な協議内容などについて伺う。

**Q** 農業支援策には、基幹的農業従事者の確保と育成が必要である。農業団体に対しての現状の支援策を検証し、拡充などへと見直す必要があると思うがいかがか。

**Q** 策定検討委員会において、高齢化や担い手の不足、農地の減少や遊休農地の増加などの課題解決のため、重点施策を含む各施策等を協議していく。

**A** 農業関係団体を通じて、農業者が意欲に満ちた企業的な農業生産ができるよう持続的な支援体制を検討していく。

**Q** あきる野農業は、地産地消型農業の推進が重要であるが、改定される農業振興計画の特徴や主な施策などは。

**A** 特徴は、観光・体験農園の整備、新規就農者の育成支援、直売所の拡充などである。特に、直売所の拡充では、秋川ファーマーズセンターの再整備に向け、引き続き、JAあきがわと連携して取り組んでいく。



## 東秋留駅南口 交通安全対策について



ひはら 省吾  
(自民党志清会)



**Q** 東秋留駅南口は、一般送迎車の駐車や転回するスペースも無く、混雑等により大変危険であると認識している。駅前自転車駐輪場を活用した簡易的なオートリーの設置について市の見解を伺う。

**A** 駅南口へののりバスの乗り入れに向けて、南口第一自転車等駐車場へのバスの折り返し場所と停留所を整備するため、今年度は、自転車等駐車場の一部移転先となる用地確保に取り組んでいる。のりバスが運行していないときに、一般車両も利用できる簡易的なオートリーとすることで危険な場面が減少することを考える。



**Q** 東秋留駅南口整備に対する予算については、令和4年度補正予算で可決されており、議会でも周知されている。のりバスの乗り入れに向けて取り組んでいくとの答弁があったが、どのような計画で進めていくのか。

**A** 現在、所有権移転の手続きを進めており、今後は施設的设计、整備工事を進める。のりバスの乗り入れには多くの関係機関との協議を要するが、なるべく早い時期に整備したい。他に地域公共交通の充実、障がい者による親の介護について質問した。

## 自閉症・情緒障害特別支援学級の開設の状況について



窪島 成一  
(自民党志清会)



**Q** 南秋留小学校における教室環境の整備のための、工事や物品の購入についての進捗状況は。

**Q** 南秋留小学校では、3つの教室をつなげたスペースの中で、それを6分割できる改修工事が行われており、タブレット端末のためのアクセスポイント設置、仕切りのためのパーティション、大型テレビ、複合機、保管庫等の準備を進めている。

**Q** 現在の入級見込み児童数や想定学級数に対し、用意できているスペースで充分に対応できるのか。

**A** 最大の60名くらいの受入れが可能。令和5年度は2学級程度を想定。他に市指定ごみ袋について質問した。





## 小・中学校教室の 快適な温度管理について



大久保 昌代  
(公明党)



コロナ禍で教室の窓を開けて換気を行うため、エアコンの効きが悪く、室内の温度が高くなっている。学習環境を整え、快適な教室の温度管理が求められるため、以下伺う。

のみで約200万円、令和元年度も小学校のみで約53万円かかっている。

**Q** エアコンの不具合が生じた場合の対処方法は。

**A** エアコンの更新計画はあるのか。その予算額の見込みについては。

**Q** エアコンの不具合が生じた場合の対処方法は。

**A** 普通教室の更新計画はない。修繕が必要な箇所について、予算を確保し対応していきたい。平成25年度にエアコン設置にかかった費用は、小学校が約3億円、中学校が約2億8千万円。更新時には、どのような手法で整備していくか検討する。

**A** 学校から連絡を受けた際は、担当職員が状況確認を行い、故障している場合は専門業者に修繕を依頼する。

他に祭事や伝統芸能などの取組について質問した。

**AQ** エアコンの修繕費用の推移は。過去3年間では、令和3年度が小・中学校で約250万円、令和2年度が小学校

他に祭事や伝統芸能などの取組について質問した。



## 公園の水場 及び遊具について



辻 よし子  
(くさしぎ)



**Q** 立水栓はあるものの蛇口が撤去されている公園が少なくない。撤去数、撤去理由及び再設置の見通しは。

**A** 策定に当たっては、地域住民や利用者の声を反映させる仕組みが必要では。今後の公園づくりのあり方を示す指針を市民の意見等を反映して策定していく。

**A** 市立公園内に47基の立水栓を設置し、蛇口の数は98口。この内、撤去等により使用できない蛇口は25口。撤去理由は水の出しっ放しや私的な目的外利用のほか、いたずら等が発生したこと。今後、災害時の水道水の供給等の検討とともに、これまでの経緯を踏まえ、自閉式蛇口への変更による再設置等を検討していく。

**A** 他にコロナ禍における生活困窮者支援、包括的子ども支援に向けた人材活用、所信表明について質問した。

**Q** 近年、滑り台やブランコ等の従来型の遊具ではなく、多様な遊びを組み合わせた複合型遊具や、障害の有無にかかわらず遊べるインクルーシブ遊具を導入する自治体が増えている。公園毎に特徴や役割を持たせた全体計画を立ててはどうか。

他にコロナ禍における生活困窮者支援、包括的子ども支援に向けた人材活用、所信表明について質問した。



## 所信表明について



中村のりひと  
(明るい未来)



所信表明で市長が述べた、すべての市民が生き生きと暮らしていけるまちづくりを実現させるため、以下伺う。

**Q** 先進自治体では住宅確保要配慮者への住居確保のために空き家の活用を進めている。居住支援協議会を早期に設置し、セーフティネット構築と空き家利活用を同時に進めるべき。居住支援協議会設置の進捗状況は。

**AQ** 空き家バンクの検討状況は。本市の特性や課題を踏まえつつ、五日市地区を対象とした制度設計について、先行して検討を進めている。現在、不動産事業者や東京都との調整を行っており、

**A** 訪問して運用状況の調査、現在の住宅確保要配慮者のニーズの把握等を行っている。立ち上げるために、現在、各種団体との調整を進めている。

今後は、地域主体のまちづくり組織との調整を図りながら、空き家の解消だけでなく、利活用により地域活性化等に資する制度を構築する。

訪問して運用状況の調査、現在の住宅確保要配慮者のニーズの把握等を行っている。立ち上げるために、現在、各種団体との調整を進めている。

## 公衆用トイレについて



清水 晃  
(明るい未来)



**Q** 市内37か所に設置してある観光トイレ1年間の管理費は。

**Q** 秋川溪谷の景観美などを楽しむために来訪する観光客の衛生管理面からも、金比羅山、養沢の柿平等のトイレを排水再利用処理装置を組み込んだ観光トイレに整備できないか。

**A** 令和3年度実績で1259万6425円となっている。

**Q** 武蔵引田駅、東秋留駅に設置されている環境に優しい排水再利用処理装置を組み込んだ観光トイレを新たに整備する予定は。

**A** 設置場所によっては、その有効性も認識しているが、今すぐの設置ではなく、今後の観光客の増加状況を見ながら、必要に応じての整備になる。

**A** 現在、市内に、排水再利用処理装置を組み込んだ観光トイレはなく、新たに整備する予定もないが、整備の必要性が生じた際には、費用対効果等を他の選択肢と比較し、採用するか否かを判断していく。

他に財政状況、所信表明について質問した。





## あきる野市議会活動レポート

### 秋川南岸道路要望活動



あきる野市と檜原村の議会で組織する秋川南岸道路建設促進協議会は、8月5日に西多摩建設事務所等を訪れ、建設促進のための要望書を提出しました。

### 陳情者が陳情内容を説明



陳情者がその趣旨や思いを委員に対し述べました。  
 ・あきる野市特別職員のサービスの宣誓に関する条例の制定を求める陳情(結果：不採択)  
 ・自治体憲法としての「あきる野市憲法条例」の制定を求める陳情(結果：不採択)

### 新議員研修会



市議会議員選挙で初当選した議員2人を対象に、7月25日、8月9日及び19日に新議員研修会が開催されました。議会に関すること(一般質問及び議会だより)や市の業務等について、研修を行いました。

### 西多摩議員研修



10月7日に西多摩地区議長会議員研修会がオンラインで開催され、議員が参加しました。慶應義塾大学大学院 政策メディア・研究科 特任助教 高木超氏を講師に招き、「SDGsの達成に向けた市町村議会の役割」というテーマで講演が行われました。



オンラインを活用した委員会の運営ができるようになりました。  
 10月14日の9月定例会議最終日において「あきる野市議会委員会条例の一部を改正する条例」と「あきる野市議会会議規則の一部を改正する規則」が可決されました。これにより、新型コロナウイルス感染症その他重大な感染症のまん延や災害等の発生により議員が委員会の開催場所に参集することが困難と認めるときは、オンラインによる方法で委員会を開くことができるようになりました。

## 主な議案等に対する会派の賛否一覧

議案等番号	件名	議決結果	自由民主党 志清会 (11人) <sup>※1</sup>	公明党 (3人)	日本共産党 あきる野市議団 (3人)	明るい未来を創る会 (2人)	くさしぎ (1人)	リメンバー (1人)
市長提出議案 53	令和3年度あきる野市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	×	○
市長提出議案 54	令和3年度あきる野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	×	○	×	○
市長提出議案 55	令和3年度あきる野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	×	○	×	○
市長提出議案 56	令和3年度あきる野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	×	○	×	○
市長提出議案 59	令和3年度あきる野市秋多都市計画事業武蔵引田駅北口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	×	○	×	○
市長提出議案 60	令和3年度あきる野市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決及び認定	○	○	×	○	×	○
市長提出議案 65	あきる野市十里木・長岳観光施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
市長提出議案 66	令和4年度あきる野市一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	○	○	○	○

※1 議長は採決に加わらない。

○：賛成 ×：反対